

## 戸別所得補償を 望む声があるが 国に働きかけたい



畑山 親弘  
(市政・社民クラブ)

いることも事実です。こうした背景のもとで、国はさまざまな政策を打ち出したところですが、これからの農業者はみずからの経営について、今まで以上に真剣に考えなければならぬ時代になったと思っています。

**議員** 戸別所得補償制度が今年度から縮小され、五年後には廃止される。国では代替制度を導入したが、農家からは現在の制度を望む声があるが。

**市長** 現在の制度はいろいろな理由があつて変えられたと思っています。これからの農業は取り組み姿勢、努力に対して国は支援するというところで、農家にもさまざまな工夫が必要であり、地域ごとに指導者を置かなければという思いです。また、今の新たな制度について意見があれば市長会等を通じて国に働きかけたいと思っています。

**議員** 幼児期の学校教育、保育や地域の子ども。



新しい子育て政策へ期待

子育てを総合的に推進する、子ども・子育て支援制度が平成二十七年四月からスタートするが、小学三年生以上の利用希望者の把握など、今後どのようになるのか。

**健康福祉部長** 小学三年生までの保護者を対象としたニーズ調査を実施しておりますが、四年生以上には行っておりません。課題としては、児童福祉法改正により入所対象者を六年生まで拡大するよう検討していますが、入所児童がふえることで現在の施設で受け入れができない場合もあることから、余裕教室等の利用について学校と協議を進めています。



石橋 義雄  
(高志会)

## 地方再生に専門部署の設置を

### 人口減少対策部署を設置予定

での活用策は。

**議員** 国では現在、地方再生を最重要政策に掲げ取り組んでいるが、そのための専門部署を設置する考えはあるか。

**市長** 当市でも喫緊の課題である少子化、人口減少対策のため、新年度予算編成方針の一つに人口減少対策につながる効果的な取り組みを掲げているところ。また、横断的な対応をするため、人口減少対策に取り組む新たな専門部署を設置する予定です。この新しい部署を軸に国の施策に即応したいと考えています。

**議員** 鞍出山や天狗山の穴堰、さらに幻の穴堰は当市はもとより近隣市町村に農業用水を供給し、地域経済や農村社会を支えている。歴史的な価値も備えていると思うが、観光面

現在までの協議状況は。

**観光商工部長** 穴堰等を含む稲生川については、重要かつ歴史的価値を有する貴重な市の財産だと認識しており、観光面の活用にあたっては、その歴史的価値と観光客のニーズをどう結びつけるかも重要なポイントになると考えています。

**教育部長** 穴堰を含め、稲生川を文化財として指定申請するに当たり、所有者である国及び土地改良区等からの同意を得るための協議を進めています。また、幻の穴堰については個人の所有者から文化財指定の申請がされており、文化財保護審議会にて現在審議中です。

**議員** 定住自立圏の観点から六戸町と六日町地区とを結ぶ道路に関する

**建設部長** 昨年六戸町と協議を行い、両市町の連携強化につながることも、国道四十五号の渋滞解消や防災面の広域的なネットワーク効果も含め、整備効果が期待されることが確認されています。今後国の動向や周辺の交通需要を見きわめながら引き続き協議を進めたいと考えています。



六戸町とのアクセス強化を